

保護者の皆様

札幌市立新琴似南小学校

校長 加藤 勝宏

## 全国学力・学習状況調査の結果報告について

1学期に6年生児童が行った「全国学力・学習状況調査」についての結果をまとめました。先日、6年生には個人票を配付しております。今回の結果報告もあわせて御参照ください。6年生児童の調査結果ではありますが、本校全体の課題として捉え、授業改善や学級経営に活かしてまいります。なお、この内容は、本校ホームページでもご覧いただけます。

### ○国語

6項目の内容について記載（言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）

本校の概要	課題	改善の方向
<p>「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「情報の扱い方に関する事項」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「我が国の言語文化に関する事項」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「書くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「読むこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p>	<p>情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみること。（情報の扱い方に関する事項）</p>	<p>情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解に伴う学習の充実を図る。</p>
<p>記号の見方（全国平均と比べて）                      △上回っている +3.1ポイント以上                      ◇ほぼ同程度であるが、やや上回る0～3ポイント以内                      ◆ほぼ同程度であるが、やや下回る0～3ポイント以内                      ▼下回っている -3.1ポイント以内</p>		

### ○算数

5項目の内容について記載（数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用）

<p>「数と計算」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「図形」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「測定」 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「変化と関係」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「データの活用」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p>	<p>示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができるかどうかをみること。（数と計算）</p>	<p>資料の中から必要な情報を見付け出す力や、数量の関係を自分なりに整理して式に表す力を育てるために、情報の取捨選択や関係付けを意識した問題場面の提示や、式に表すまでの思考過程を言語化する活動を取り入れる。</p>
--	--	---

## ○理科

4項目の内容について記載(エネルギー、粒子、生命、地球)

本校の概要	課題	改善の方向
<p>「エネルギー」を柱とする領域 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「粒子」を柱とする領域 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「生命」を柱とする領域 ▼全国平均を下回っている。</p> <p>「地球」を柱とする領域 ▼全国平均を下回っている。</p>	<p>ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる こと。</p> <p>発芽するために必要な条件について、 実験の条件を制御した解決の方法を 発想し、表現することができるかどう かをみること。</p> <p>(生命)</p> <p>水の温まり方について、問題に対する まとめを導きだす際、解決するための 観察、実験の方法が適切であったか を検討し、表現することができるか どうかをみること。</p> <p>(粒子)</p>	<p>花のつくりや受粉のしくみを具体的 に理解する力を育てるために、実物 を用いた観察や図を活用した学習を 進める。条件の違いに着目して考 察し、自分の考えを分かりやすく表 現する力を育てるために、実験方法 の工夫や図・言葉による表現活動の 充実を図る。</p> <p>解決に向けて思考を深め、気付き を自分の言葉でまとめて表現する 力を育てるために、観察や実験の 方法を振り返り、適切さを考える 活動を取り入れる。</p>

## ○全体を通したまとめ

国語、算数、理科、全ての教科で全国平均を下回っていた。改善の方向は先に示したが、「学ぶ力」を育成していくためにも、全ての教育活動の中で、AAR サイクルの視点を基にした課題探究的な学習を推進、研修を重ねていく。

※AAR サイクル…札幌市では OECD が提唱する教育の枠組み「ラーニング・コンパス 2030」に基づいた学習プロセス Anticipation (見通し)、Action (行動)、Reflection (振り返り) を基に課題探究的な学習を推進してきている。

## ○児童質問紙

札幌市実施報告書 3児童生徒質問の結果の概要「人間尊重の教育に係る質問」「さっぽろっ子自治的な活動に係る質問」「課題探究的な学習に係る質問」「ICTの活用に係る質問」の中から説明

### 成果

上記の内容の中から肯定的な回答の多い質問項目について

「ICTの活用に係る質問」

29-1 PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くことなど)ができると思う。

29-2 インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ができると思う。

29-3 PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ができると思う。

29-4 PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思う。

どの設問においても、全国平均を上回っている。「学ぶ力」を育成することを目的にICTを効果的に活用してきた成果が表れてきていると考えている。また、全国と同様の傾向であるが、「29-3 情報を整理すること」については他の質問より肯定的な回答の割合が低く、子どもが収集した情報について、どのように整理、分析するとよいかについて指導していく必要がある。

### 課題

上記の内容の中から肯定的な回答の少ない質問項目について

「36 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う」

「37 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う」

(課題探究的な学習～リフレクション(振り返り))

「31 授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表したと思う」

(課題探究的な学習～自分の考え)

「42 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」

(自治的な活動)

### 改善の方向

1学期に行った前期学校評価児童アンケートの中でも、振り返りを含めた学習の項目に課題が見られた。

AARサイクルの視点を基に、子どもが自らの学びや成長を振り返るリフレクションの場面をより充実できるように授業改善を図り、子ども一人一人の主体性を大切に多様な学びを推進していく。

(課題探究的な学習)

ねらいを明確化したり、学級会の進め方(まほうの話し合いシート)を使ったりしながら、話し合い活動の充実を図り、目標をもって取り組めるようにしていく。(自治的な活動)

※なお、札幌市HPより札幌市全体の結果をご覧いただけます。

[全国学力・学習状況調査/札幌市 \(city.sapporo.jp\)](http://city.sapporo.jp)